

「知るために、知らせるために」：ドキュメンタリーを見て語る

## 『チョコラ！』（監督：小林茂、2010年）

ケニアのストリートで生きる子どもたちを撮影したドキュメンタリー映画『チョコラ！』の上映会を開催します。「チョコラ」とは、スワヒリ語で「拾う」を意味し、生活のためにくず拾いをするストリート・チルドレンを指しています。さまざまな事情を抱え、路上に流れてきた子どもたち。夜の厳しい寒さや空腹を忘れるためにシンナーを吸い、仲間と助け合いながら生き抜く姿を描いたのが、ドキュメンタリー映画『チョコラ！』です。

アフリカ東部にあるケニア共和国。首都ナイロビから車で1時間、標高1500mにある人口10万人の地方都市、ティカがその舞台です。そこで、ひとくせもふたくせもある子どもたちと信頼関係を築くことに成功した日本人がいます。その一人が、現地でストリート・チルドレンの支援に取り組むNGO「モヨ・チルドレン・センター」の松下照美さんであり、もう一人が、被写体として子どもたちを撮影することを子どもたち自身から許された小林茂監督です。当日はお二人を会場に迎え、上映会後に現地での体験をうかがいます。

### 開催日時

開催日：5月28日（火）

時 間：開場 14時50分 / 開始 15時

映画終了後、小林茂監督、松下照美さん（NGO 団体「モヨ・チルドレン・センター」）との  
トークショーがあります。

18時 終了予定）

会 場：桃山学院大学 ハイビジョンシアター（2-301）（324名収容）

事前申し込み不要。どなたでも自由にご参加いただけます。



桃山学院大学  
St. Andrew's University

## ケニアのストリートで生きる思春期の子どもたち 儚くも強かな青空ぐらし

### 映画「チョコラ！」

エイズや貧困など生活環境はたしかに過酷だ。でも青空ぐらしのチョコラたちは、元気いっぱいストリートを駆け抜けていく。かなりやんちゃで危なっかしいけれど、私達は彼らの生きるエネルギーに圧倒される。映画全編に響く不思議な音色は、音楽界の風雲児・サカキマンゴーが奏でる、“親指ピアノ”と呼ばれるアフリカの民族楽器である。



(映画の1シーンより)

監督:小林茂 音楽:サカキマンゴー 撮影:吉田泰三 プロデューサー:矢田部吉彦 アソシエイト・プロデューサー:秦岳志  
エンディング・テーマ曲:「Diakutumeni」(サカキマンゴー&Limba Train Sound System)

特別協力:佐藤真 後援:「小林茂の仕事」Oタスケ隊 助成:芸術文化振興基金 財団法人 新潟県国際交流協会

製作:カサマフィルム 配給:東風 2008年/94分/HD/スタンダード/カラー/日本

公式サイト <http://www.chokora.jp/>

#### 小林茂 ドキュメンタリー映画監督

1954年新潟県生まれ。同志社大学法学部卒業。学生時代から足尾鋇毒事件、水俣病事件の被害者たち、ハンセン病の療養所の人々、障害者の人々と交流・支援活動をする。ドキュメンタリー映画「阿賀に生きる」(佐藤真監督)の撮影により日本映画撮影監督協会第1回JSC賞受賞。透析をしながらアフリカのストリートチルドレンの映画「チョコラ！」を制作。現在は新潟県の豪雪地域を舞台に「風の波紋」を制作中。長岡市が制定した「米百俵賞」を本年受賞。



#### 「モヨ・チルドレン・センター」の 松下照美さん

1994年よりアフリカにてボランティア開始。1999年ケニア政府より国際NGOとして認可を受け「モヨ・ホーム」(後に「モヨ・チルドレン・センター」)を設立。2010年「子どもたちの家」が完成。

子どもたちの学費支援、給食支援、ストリートの子どものリハビリ等にかかわる。



「和泉中央駅」から徒歩で約12分

#### 問い合わせ先

桃山学院大学 入試・広報課  
〒594-1198

大阪府和泉市まなび野1番1号

TEL 0725-54-3131 (代)

FAX 0725-54-3203

e-mail koho09@andrew.ac.jp

URL <http://www.andrew.ac.jp>

※事前申し込み不要。

どなたでも自由にご参加いただけます。

世界が変わる  
体験がある。



桃山学院大学  
St. Andrew's University